

平成26年度
米子市歴史館運営委員会

日 時 平成27年3月26日(木) 午後2時から
ところ 米子市役所第2庁舎第2会議室

日 程

1 開 会

2 挨拶(文化課長、委員長)

3 議 事

(1) 平成26年度事業報告について

山陰歴史館、福市考古資料館、上淀白鳳の丘展示館

(2) 平成27年度事業計画について

山陰歴史館、福市考古資料館、上淀白鳳の丘展示館

4 その他

5 閉 会

米子市立山陰歴史館

平成 26 年度事業報告

平成 27 年度事業計画(案)



平成 26 年度米子市立山陰歴史館主催事業報告

平成 27 年 2 月末現在

事業名		開催日	入館者(人)	内 容	
常設展	米子城、米子の農家の昔の暮らし、西田税、昭和の小学校、昔の道具、子どもの遊び	通年	7,316	米子の古代から現代までの通史を展示する。各部屋の展示を巡ることで、当時の生活の様子や産業など、人々の息吹を感じてもらった。	
	緋 ～時代とともに～ <small>主催：米子市、米子市教育委員会 協力：鳥取県弓浜緋協同組合・NPO 法人おりもんや・西部農業改良普及所</small>	4/26 (土) ~ 6/8 (日)	[1,449]	弓浜緋を中心に展示し、其の制作過程や絵柄をご覧いただいた。展示に際しては、市民の皆さんから貴重な緋製品を借用した。	
企画展	いつもはしまっている民具・明治期の絵図展 <small>主催：米子市、米子市教育委員会、米子市立山陰歴史館</small>	6/29 (日) ~ 8/17 (日)	[906]	歴史館館蔵品の大型民具の紹介と、明治初期に描かれた米子周辺の絵地図をご覧いただき、米子市の歴史の移り変わりを学んでいただいた。	
	音を奏でる <small>主催：米子市、米子市教育委員会、米子市立山陰歴史館 協力：鳥取県立博物館、鳥取県埋蔵文化財センター、米子市埋蔵文化財センター、鳥根大学教育学部音楽教育連携推進室、鳥根県古代文化センター、琵琶工房やまのべ</small>	9/6 (土) ~ 10/13 (月・祝)	[678]	歴史館が所蔵する和楽器や、この展示に際して寄贈いただいた杉本良巳コレクションの伝統楽器を展示し、楽器の歴史や使い方、使われた場所などを紹介した。	
	財団連携事業 こども夏休み体験ツアー写真展	10/16(木) ~ 10/23(木)	[100]	財団の管理・受託施設が連携をし、事業をおこなった。	
	昔の武器 <small>主催：米子市、米子市教育委員会、米子市立山陰歴史館</small>	11/1 (土) ~ 1/12(月・祝)	[1,170]	歴史館の館蔵する様々な種類の「武器」をご覧いただいた。	
	因幡国・伯耆国のサムライたち ～南北朝から明治まで～ <small>主催：米子市、米子市教育委員会、米子市立山陰歴史館 協力：鳥取市歴史博物館・善平山妙興寺・米子市立図書館</small>	27 年 1/31 (土) ~ 3/8 (日)	[898]	当館所蔵の資料と鳥取市歴史博物館・米子市立図書館所蔵の資料から、因幡と伯耆の中近世の歴史の中で活躍した人々の足跡を紹介した。 ギャラリートーク ①2/11 因幡編 57 人 (鳥取市歴史博物館学芸員) ②2/21 伯耆編 23 人 (当館主任学芸員)	
連携事業	とっとり文化遺産魅力発掘プロジェクト事業 第 70 回米子市秋の文化祭参加事業 米子歴史絵巻～巻之三～ <small>主催：とっとり文化遺産魅力発掘プロジェクト実行委員会、米子市、米子市教育委員会、米子市立山陰歴史館、米子市文化ホール 協力：米子市児童文化センター</small>	10/4 (土)	130	湊山公園内日本庭園で、筑前琵琶の演奏と琵琶解説を交えたコンサートを予定していたが、当日は雨のため児童文化センターへ会場を移し開催した。	
	財団連携事業 米子の文化丸かじりスタンプラリー <small>9/15(月・祝) ~ 12/28 (日)</small>		[47]	財団の管理・受託施設が連携をし、事業をおこなった。	
参加型	とっとり文化遺産魅力発掘プロジェクト 第 70 回米子市秋の文化祭参加事業 文化講演会 レクチャーコンサート 「日中韓 音の時空」 <small>主催：とっとり文化遺産魅力発掘プロジェクト実行委員会、米子市、米子市教育委員会、米子市立山陰歴史館、米子市文化ホール 協力：鳥根大学教育学部音楽教育連携推進室</small>	9/27 (土)	141	島根大学教授藤井浩基氏を講師とし、大西瑞香氏の琴・箏、ミン ヨンホン氏のカヤグム、チェンシー氏の古箏を交えたレクチャーコンサートをお聴きいただき、楽器の歴史を学んでいただいた。	
	歴史講座 使い手から見た 日本刀の歴史 <small>10/26 (土)</small>		37	武器としての日本刀の歴史や使い方・戦闘様式の変遷などを、全日本居合道連盟本部参加の中田利幸氏を講師とし、学んでいただいた。	
教育普及事業	講座 サムライ体験 写経編 <small>H27/3/7 (土)</small>		0	因幡国・伯耆国のサムライたち～南北朝から明治まで～の関連事業 協力：妙興寺	
	平成 26 年度 米子錦ライオンズクラブ助成事業 第 41 回郷土の歴史教室 奥出雲のたたら歴史を知ろう！ <small>主催：米子市教育委員会、米子錦ライオンズクラブ、米子市立山陰歴史館</small>	7/30 (水)	45	「たたら製鉄」の歴史を、日本刀の鍛錬の実演見学や山を切り崩して砂鉄を取り出した跡に造られた棚田を見学する現地体験をとおして学習した。	
	民話の部屋 <small>共催：ほうき民話の会、米子市立山陰歴史館</small>		89	地方に残る方言で語られるむかし話を楽しむ機会とした。学芸員が歴史館資料や調査資料の解説をおこなった。	
	学校・公民館対応など 出前講座 体験学習受け入れ	通年	98	福米西小学校に出向き出前講座をおこなった。	
	博物館実習・職場体験受け入れ		[1,298]	市内外の小学校 3 年生及び中学生を受け入れた。(26 校)	
	博物館実習・職場体験受け入れ		6 件	博物館実習 (1 件/1 人)・職場体験受け入れ (5 件/7 人)	
	財団連携事業 こども夏休み体験ツアー	7/26 (金)	[24]	財団の管理・受託施設が連携をし、事業をおこなった。	
	資料の保存・活用事業	調査・整理・研究・保管			資料の調査・整理・研究をし、その成果を発表した。資料の目録作成をおこなった。
		鳥取県史編さん事業 古文書解説ボランティア月例会		138	鳥取県史編さん資料解説の事業支援をおこなった。
		資料貸出		45 件	資料の貸出をおこなった。(738 点)
情報提供事業	歴史館だよりの発行/ホームページの作成・更新			史・資料の紹介やイベント情報の提供などをおこなった。	
	問合せ対応			米子市史などの問い合わせに対応し、情報の提供をおこなった。	
	友の会の運営 理事会及び総会の開催 研修会「吉備路をめぐる」 <small>5/31・6/14 9/30 (火)</small>		45	会の運営の手助け、研修会の実施など。	
	図書等販売 紀要の発行など	通年		委託図書・図録・紀要などの販売をおこない収入の一助とした。	
合 計		26 年度	8,039		
		25 年度	9,128		

平成27年度 米子市立山陰歴史館事業計画書(案)

1 基本方針

(1) 個性あふれる利用しやすい施設づくり

建築物がもつ歴史的景観や価値の情報発信と、市民が集える場の提供をおこないながら市民に利用してもらいやすい施設づくりを目指す。

(2) 郷土の歴史・民俗資料を中心とする整理、調査研究、保管活用の充実

収集資料の体系的な整理への取り組みを行い、事業企画や情報発信に活用できる研究成果の積み重ねに努める。

(3) 子どもたちに地域の歴史への興味と関心をもたせる展示や活動に努める。

2 重点施策

(1) 山陰歴史館所蔵の資料整理及び調査研究、資料活用の推進

資料整理や研究に取り組み、その成果を常設・企画展示事業に反映させながら、歴史的資料の開示や情報発信に取り組むと共に、『歴史館紀要』の発行を継続しておこなう。

(2) 歴史館を活用した参加型の協働事業の推進

ほうき民話の会・米子下町観光ガイド、企画展示事業を通じて連携する諸団体との協力・協働をとおして、活動の紹介や発表の場の提供、体験型参加事業、教育普及事業をおこなう。

(3) 利用者サービスの向上

米子市史関連資料の問合せや館蔵資料の閲覧・貸出などに随時対応し、郷土の歴史に係る情報の提供や情報交換の場の提供をおこなう。

(4) 財団内で連携した事業展開

当財団の各専門分野の職員間で連携し、幅広い事業展開をおこなう。

3 主要事業

	事業名	目的・内容・ 入場料・入場者数(見込)	実施日	備考
鑑賞事業 [常設展]	昔のくらし展 など	米子の古代から現代までの 歴史をとおして、人々の暮らし の様子を紹介する。 入場料無料(7,000人)	通年 随時展示替	
[企画展]	もっと知りたい! 米子城 Vol.4	米子城築城に携わった人々 や歴代の城主、家臣に関する 資料を展示 入場料 300 円(2,000人)	4月25日(土) ～ 6月21日(日)	関連事業 講演会 ・「伯耆における尼子と毛利」(仮称) ・「江戸時代の鳥取藩の女性たち」 講座 在りし日の米子城(仮称)
	戦後 70 年 戦争の記憶 ～次世代に語り 継ぐ～(仮称)	戦後 70 年を迎え、戦争の悲 惨さや平和について学ぶ場 を提供する。 入場料 300 円(1,066人)	7月18日(土) ～ 8月24日(日)	連携:鳥取市歴史博物館 関連事業 聞き取り調査の『記録集』を 発刊
	米子市 合併 10 周年記念 米子と淀江の 歴史	合併 10 年を記念して、淀江 町の歴史と米子の歴史を交 差させながら紹介する。 入場料 300 円(1,400人)	9月19日(土) ～ 11月29日(日)	連携:米子市埋蔵文化財 センター 関連事業 講演会 ・淀江の歴史を語る
	米子市 合併 10 周年記念 写真が語る米 子の歩み	米子の建物の建築写真をと おして、米子の街の歴史を 紹介する。 入場料無料(1,000人)	28年1月9日 (土) ～ 28年3月末	共催:米子市教育委員会 協力:米子市建設業協議会
[連携事業]	米子歴史絵巻	第4回目を迎える。淀江町 の史跡上淀廃寺跡を舞台に 荒神神楽を上演し、歴史的 遺産を活用した事業を行 う。 入場料無料(100人)	10月10日 (土)	場所:国史跡上淀廃寺跡/ 雨の場合は淀江文化セン ター 共催:米子市文化ホール (株)白鳳・上淀白鳳の丘展示 館(予定)

	事業名	目的・内容・ 入場料・入場者数(見込)	実施日	備考
教育普及 事業	講演会 伯耆における 尼子と毛利 (仮称)	もっと知りたい！米子城 Vol.4 関連事業 西伯耆の戦国時代の様子を 尼子・毛利の合戦から学ぶ。 入場料無料(100人)	5月23日(土)	場所:米子市文化ホール (イベントホール) 講師:島根大学教育学部 教授 長谷川博史先生
	講演会 江戸時代の鳥 取藩の女性た ち	もっと知りたい！米子城 Vol.4 関連事業 鳥取藩の江戸時代の女性の 姿を紹介する。 入場料無料(100人)	6月6日(土)	場所:米子市文化ホール (イベントホール) 講師:鳥取県史編さん近世 部会 委員 谷口啓子氏 共催:鳥取県立公文書館
	講座 在りし日の米子 城	もっと知りたい！米子城 Vol.4 関連事業 米子城の規模などを、現地 を訪ねて学ぶ。(3回開催予定) 参加料 500円(20人程度)	秋	場所:米子城跡
	講座 米子市 合併10周年記念 米子と淀江の 歴史(2部構成)	合併10周年を記念して、淀江 町の歴史を紹介する。 入場料無料(100人)	10月3日 (土) (研修室)	場所:米子市文化ホール 講師:米子市役所淀江支 所地域生活課 主幹 岩田文章氏 ほか
	第42回郷土の 歴史教室	子どもたちに郷土の歴史を 知る機会の提供を図る。 参加料有り(30人程度)	7月30日(木) (予定)	共催:米子錦ライオンズ クラブ・米子市教育委員 会
	民話のへや	民話語りと歴史館資料の紹 介・解説をおこなう。	通年	共催:ほうき民話の会
	学校・公民館 対応など	郷土の歴史への知識を深め る機会を提供する。	申込随時	
	学校への 出前講座	郷土の歴史への知識を深め る機会を提供する。	通年	
	館内体験学習 学芸員研修受入	社会科校外学習受入など。	通年	
子ども夏休み 体験ツアー	当財団の管理・受託施設が 連携を取り事業を実施	夏休み中	財団施設連携事業	

	事業名	目的・内容・ 入場料・入場者数(見込)	実施日	備考
教育普及 事業 [資料の 保存・活用]	資料の調査・整理・研究・保管	資料の調査研究の成果を『歴史館紀要』に発表する。	通年	
	資料収集	戦争を次世代に語り継ぎ、平和を考えるための資料として、当時の様子を聞き取り調査し『記録集』を発刊する。		関連事業 企画展 戦後 70 年 戦争の記憶 ～次世代に語り継ぐ～ (仮称)
	資料貸出	素鳳コレクションの貸出。学習資料などの貸出。	通年	
	古文書解読	古文書解読の学習の場の提供を通して、資料解読の協力者の育成につなげる。	通年	共催:鳥取県史編さん室
[情報提供]	問合せ対応	県内外からの問合せに対応し、歴史情報を提供する。	通年	
	歴史館だよりの発行	歴史館の展示情報などを提供する。	通年	
	ホームページ	展示事業の紹介・更新	通年	
	友の会の運営	会の運営の手助けを行う。	通年	共催:歴史館友の会
	図書等販売	委託図書などの販売	通年	

平成26年度米子市埋蔵文化財センター・米子市福市考古資料館事業実施報告書

1 管理組織

(1) 指定管理者 一般財団法人米子市文化財団

(2) 職員配置

米子市埋蔵文化財センター

館長1名 学芸員1名 (補助として他に一般財団法人米子市文化財団埋蔵文化財調査室職員4名、事務員1名が兼務)

米子市福市考古資料館

館長1名(兼務) 学芸員1名(兼務) 受付管理2名

在職者名簿

米子市埋蔵文化財センター		米子市福市考古資料館	
館長	小原貴樹 (非常勤)	館長	小原貴樹 (非常勤)
学芸員	高橋浩樹 (調査室兼務)	学芸員	高橋浩樹 (調査室兼務)
学芸補助	平木裕子 (調査室兼務)	受付・管理	遠藤 稔 (臨時職員)
学芸補助	佐伯純也 (調査室兼務)		
学芸補助	濱野浩美 (調査室兼務)	受付・管理	門脇 威 (臨時職員)
事務補助	田中昌子 (非常勤)		

2 平成26年度 埋蔵文化財センター・福市考古資料館事業計画

(1) 基本方針

- ① 埋蔵文化財センターとして基本になる収蔵・調査研究機能の充実
- ② 原始・古代への関心を高める福市考古資料館の管理
- ③ 環境を生かした福市考古資料館と埋蔵文化財センターの管理
- ④ 情報発信とネットワーク化の推進

(2) 重点施策

①原始・古代史を学ぶ機会の提供

ア 常設展・企画展を企画・開催し、米子市等の考古資料を展示し、また講座の実施により原始・古代への関心を高める。

イ 市内の遺跡のガイドウォークの実施によって遺跡への関心を高める。

ウ 体験教室・出前講座をとおして、「見て」「触れて」「作って」古代への興味・関心を高める。

②埋蔵文化財資料の整理・保管研究 米子市の埋蔵文化財の出土品や記録の適切な整理・保管を行い、良好な状態で次世代に継承するとともに、広く活用できるように努める。

③情報の発信 発掘調査や研究の成果をふまえ、米子市等の原始・古代史の最新情報を発信する。

④連携事業の促進 より多くの人に興味・関心を持ってもらうために、当財団の各施設をはじめ、歴史関係施設との連携事業を展開する。

(3) 主要自主事業計画

	事業名	目的・内容	実施時期・回数
展 示	常設展示「米子の原始・古代」 (福市考古資料館)	米子の遺跡から出土した考古資料を展示し、原始・古代の姿の理解を深める。	通年
	企画展示「発掘調査速報展」 (福市考古資料館)	最近、発掘調査された遺跡の出土品や写真を展示し、遺跡調査成果を速報	年1回 9～10月
	常設展示「米子の遺跡と発掘調査」 (埋蔵文化財センター)	遺跡や出土品を通して、米子の遺跡や発掘調査の理解を深める。	通年
	出前企画展示 米子平野の古墳展 (センター・白鳳館共催)	センター保管の古墳の遺物を展示し遺跡の理解を深める。上淀白鳳の丘展示館で開催	年1回
教 育 普 及	米子城跡ガイドウォーク	史跡米子城跡の解説と現地ガイド	年1回 10月
	市内遺跡探訪ウォーク	淀江地区の遺跡の現地ガイド	年1回 5月
	石造物探訪ウォーク	米原・西福原の石造物の現地ガイド	年1回 10月
	考古学講座 「発掘が語る米子」	各時代の遺跡の発掘成果を解説する。	年3回 6・8・10月
	講座「出土品学習教室」	発掘出土品の実測などの学習をする。	年1回 11月
	発掘調査見学ツアー	発掘調査中の遺跡を見学する。	年1回
	勾玉・石包丁・土笛づくり	希望する団体や来館者の体験学習	随時
	出前講座・学習受入	学校公民館等への遺跡解説と体験学習	随時
	出土品貸出・利用提供	収蔵資料の貸出・閲覧	随時
調 査	資料の調査・研究、整理・点検	収蔵資料、寄贈資料の調査・研究・整理	通年
情 報 発 信	「埋蔵文化財センターたより」	調査情報、収蔵品、行事等の情報提供	年4回
	施設情報の提供	事業団ネットでの行事等の施設情報の提供	通年
	財団施設連携事業	財団管理施設の見学と体験学習	年1回

II 平成 26 年度実施事業状況

1 展示事業

(1) 埋蔵文化財センター常設展示

内 容 テーマ「米子の遺跡と発掘調査」

期 間 平成 26 年 4 月 1 日～2 月末現在

担当者 佐伯純也 観覧者(304 人)

(2) 福市考古資料館常設展示

内 容 テーマ「米子の原始・古代」

期 間 平成 26 年 4 月 1 日～2 月末現在

担当者 高橋浩樹 観覧者(1,794 人)

(3) 福市考古資料館企画展示

内 容 テーマ「発掘調査速報展」

岸本バイパスの遺跡の発掘成果の
展示を行った。

期 間 平成 26 年 10 月 1 日～12 月 1 日

担当者 佐伯純也 観覧者(401 人)

(4) 出前展示(上淀白鳳の丘展示館共催)

内 容 テーマ「淀江の古墳時代」

埋蔵文化財センター保管の古墳の出土品
を展示し往時の淀江の姿を振り返る。

場 所 上淀白鳳の丘展示館

期 間 8 月 2 日～9 月 28 日(848 人)

担当者 小原貴樹・井上玲美



福市考古資料館企画展示

2 教育普及事業

(1) 市内遺跡探訪ウォーク

「淀江の文化財を歩く」

内 容 淀江の街を歩きながら史跡を巡る。

実施日 5 月 18 日(日) 参加者(15 人)

担当者 佐伯純也

(2) 石造物探訪ウォーク「西福原・米原」

内 容 西福原・米原周辺の石造物を解説し
ながら巡る。

実施日 9 月 23 日(火) 参加者(7 人)

担当者 高橋浩樹

(3) 米子城跡ガイドウォーク

内 容 米子城跡を解説しながら巡る。

実施日 3 月 8 日(日) 参加者(30 人)

担当者 小原貴樹



市内遺跡探訪ウォーク



石造物探訪ウォーク

(4) 考古学講座「発掘が語る米子」

①内 容 「米子の考古学事始め」

場 所 埋蔵文化財センター研修室

実施日 6月15日(日)参加者(12人)

講 師 佐伯純也

②内 容 「南部町境の遺跡群」について

場 所 埋蔵文化財センター研修室

実施日 8月24日(日)参加者(10人)

講 師 濱野浩美

③内 容 「観音寺狼谷山遺跡」について

場 所 埋蔵文化財センター研修室

実施日 10月19日(日)参加者(17人)

講 師 平木裕子

(5) 講座「出土品学習教室」

内 容 出土の須恵器について接合、復元の方法を実際に体験学習した。

場 所 埋蔵文化財センター

実施日 11月9日(日)参加者(2人)

講師 小原貴樹

(6) 発掘調査見学会

内 容 発掘調査中の越敷山古墳群の現地説明会として実施した。

場 所 伯耆町越敷山古墳群の遺跡現地

実施日 11月24日(日)参加者(100人)

担当者 佐伯純也

(7) 出前講座「勾玉づくり」ほか

①勾玉づくり・火起こし体験出前講座

7月23日(水) 加茂なかよし学級(42人)

尚徳なかよし学級(8人)

7月25日(金) 弓ヶ浜なかよし学級(42人)

7月31日(木) 淀江なかよし学級(50人)

8月1日(金) 車尾なかよし学級(30人)

崎津なかよし学級(53人)

8月4日(月) 彦名なかよし学級(38人)

8月5日(火) 義方なかよし学級(36人)

8月6日(水) 和田なかよし学級(26人)

8月7日(木) 大篠津なかよし学級(14人)

8月18日(月) 福米西なかよし学級(35人)

伯仙なかよし学級(41人)

箕蚊屋なかよし学級(37人)

福生西なかよし学級(23人)

五千石なかよし学級(23人)



考古学講座③



発掘調査見学会



なかよし学級勾玉づくり

8月19日(火) 啓成なかよし学級 (20人) 住吉なかよし学級 (35人)

8月20日(水) 河崎なかよし学級(23人)

就將なかよし学級(29人)

8月21日(木) 明道なかよし学級(36人)

8月22日(金) 福生東なかよし学級 (29人)

計 670人

担当 下高瑞哉 福田基樹 中原康介
(米子市教委) 小原貴樹 高橋浩樹
濱野浩美 佐伯純也 平木裕子 秦美香
永登朋子 佐々木志保 北尾諭 福嶋昌子
(埋文センター) 門脇威 遠藤稔(福市資料館)



なかよし学級火起こし体験

②講師派遣出前講座

ア 6月8日(日)「淀江古代まつり史跡ウオーク」

場 所 妻木晩田～上淀廃寺

参加者 (25人) 講師 小原貴樹

イ 8月22日(金)「五千石の歴史と史跡」

場 所 五千石公民館

参加者 (25人) 講師 小原貴樹

ウ 10月18日(水)「転がせ弥生メシ」

場 所 むきばんだ史跡公園

参加者 (16人) 講師 濱野浩美

エ 10月22日(水)「日野川と福生の史跡」総合学習

場 所 福生東小学校 参加者 (25人) 講師 小原貴樹

オ 11月8日(土)「南部バイパスの遺跡」

場 所 南部町天万庁舎 参加者 (80人) 講師 濱野浩美

カ 11月23日(日)「本城を移転せよ」ー吉川氏はなぜ月山から米子城へー

場 所 安来市中央公民館 参加者 (80人) 講師 佐伯純也



転がせ弥生メシ

(8) 財団施設連携事業

①内 容 こども夏休み体験ツアー (勾玉づくり)

場 所 埋蔵文化財センター

実施日 7月24日(木) 参加者 (24人)

②内 容 こども夏休み体験ツアー (火起こし体験)

場 所 福市考古資料館

実施日 8月8日(金) 参加者 (25人)

担当者 高橋浩樹・佐伯純也



こども夏休み体験ツアー (勾玉づくり)

3 情報発信事業

(1) 埋蔵文化財センターたよりの発刊

発掘調査の情報、遺跡紹介など年4回の発行を行った。(第13号～16号)

(2) 埋蔵文化財センター・福市考古資料館ホームページ

施設情報や行事情報、米子市とその周辺の遺跡紹介をインターネットホームページに掲載し情報発信した。

4 調査研究・整理・収蔵保管事業

(1) 調査研究

歴史館旧蔵資料について調査を実施した。

(2) 整理作業

①遺物の整理及び収蔵保管

寄贈資料や過去の調査資料などの遺物を整理し収蔵した。

②図面の整理

米子市と財団の発掘調査図面の整理点検を行いファイルに収納し、図面番号を付して整理した。

③写真記録のデジタル化

発掘調査写真類のデジタル化を行った。

④図書整理保管

寄贈報告書・図書について整理保管した。

⑤整理報告書の発刊

過去の未刊行の資料を整理し、整理報告Ⅰを発刊した。

5 センター利用事業

(1) 施設視察見学

八雲立つ風土記の丘、文化庁調査官等の埋蔵文化財センター視察来訪があった。

(2) 施設利用

①学校連携

尚徳小学校3年生の古代学習を受入れ、また福市遺跡の現地学習を実施した。

実施日 6月12日(木) 児童ほか(44人)

6月23日(月) 児童ほか(47人)

担当者 下高瑞哉 高橋浩樹 門脇威 遠藤稔

②研究会・講座利用

研修室が研究会会場や講座会場として利用された。(山陰中世土器検討会)



尚徳小学校2年生の古代学習



尚徳小学校3年生の古代学習



環境大生インターンシップ

③職場体験

インターンシップで米子南商業高校3名、鳥取大学医学部生1名、国立米子高専生1名、鳥取環境大学生1名を埋蔵文化財職場の体験として受け入れた。

(3) 資料利用 (別紙一覧)

- ①収蔵品の貸出利用
- ②収蔵品実見・熟覧等の研究利用
- ③写真等資料の貸出利用
- ④図書の閲覧・貸出利用



京大院生資料調査

平成26年度のあゆみ(業務日誌抄録)

- | | | | |
|-------|--------------------------|--------|-------------------------------|
| 4月27日 | 福市でつつじ祭りが開催された。 | 8月22日 | むきばんだ史跡公園へ須恵器貸出。 |
| 4月30日 | 会見小・五千石小遠足対応で開館。 | 9月13日 | 米原子供会が古代体験で来館 |
| 4月12日 | 東広島市教委妹尾氏瓦調査で来館。 | 9月1日 | 鳥取環境大生がインターンシップ。 |
| 5月9日 | 島根県古代出雲博物館・倉吉博物館へ遺物を貸出。 | 9月4日 | 京都大学院生が木器調査で来館。 |
| 5月14日 | 尚徳小学校がウォークラリーで来館。 | 9月23日 | 淀江美水ウォークガイド講師派遣。 |
| 5月21日 | 出雲市弥生の森博物館高橋氏が資料調査で来館。 | 9月25日 | 愛媛大学から漆土器調査で来館。 |
| 6月23日 | 尚徳小3年生が火起こし等古代体験学習で来館した。 | 10月6日 | 三刀屋史談会25名が来館された。 |
| 6月8日 | 淀江古代まつり史跡ウォークの解説支援を行う。 | 10月16日 | 静岡大学生が卒論調査で来館。 |
| 6月12日 | 尚徳小学校古代学習で来館。 | 11月11日 | 石見銀山街道の会12名が来館。 |
| 6月19日 | 古代出雲歴史博物館学芸員が資料調査で来館。 | 11月19日 | 鳥取県史編纂室湯村氏が今津岸の上遺跡資料調査で来館された。 |
| 6月27日 | 出雲弥生の森博物館へ遺物貸出。 | 12月11日 | 上淀白鳳の丘展示館井上学芸員が瓦調査で来館された。 |
| 7月23日 | なかよし学級古代体験の出前開始 | 12月13日 | 山陰中世土器検討会がセンターで開催された。 |
| 7月2日 | 米子南高生がインターンシップ。 | 1月9日 | 県史編纂室湯村氏が資料借用で来館。 |
| 7月3日 | 県史編纂室の湯村氏が資料調査で来館。 | 1月21日 | 県埋蔵文化財センター君嶋氏が木器調査で来館。 |
| 7月24日 | 大分市教育委員会・塩地氏が資料調査で来館。 | 1月23日 | 上淀白鳳の丘展示館井上学芸員が資料借用で来館。 |
| 7月22日 | 大阪弥生博物館のツアーが来館。 | 1月30日 | 文化庁内田調査館が当館の視察に来館された。 |
| 8月22日 | 五千石公民館の講座へ講師派遣 | 2月26日 | 出雲弥生博物館高橋氏が調査指導で来館。 |
| 8月11日 | 鳥大医学部生がインターンシップ。 | 2月27日 | 島根大学岩本准教授が鏡の調査で来館された。 |
| 8月18日 | 国立米子高専生がインターンシップ。 | | |

平成26年度米子市埋蔵文化財センター・福市考古資料館事業実績一覧

2015年2月28日 現在

事業名	日時	人数	件	内 容
福市考古資料館常設展	通年	1,794	1	米子の原始古代遺跡・遺物の展示
福市考古資料館企画展	9/19～10/28	401	1	発掘速報展・境内海道西遺跡ほか
埋蔵文化財センター常設展	通年	304	1	米子の遺跡と発掘調査
出前展示	8/2～9/28	(848)	1	「淀江の古墳時代」展 上淀白鳳の丘展示館共催開催
米子城跡ガイドウォーク	3/8	30	1	米子城跡現地ガイド
市内遺跡探訪ウォーク	5/18	15	1	淀江地区の文化財ガイド
石造物探訪ウォーク	9/23	7	1	米原・西福原地区石造物ガイド
発掘調査見学会	11/24	100	1	越敷山古墳群現地
考古学講座①・②・③	6/15 ほか	39	3	遺跡の発掘成果の解説ほか
出土品学習教室	11/9	2	1	須恵器の接合・復元
出前講座(勾玉づくり)	7/3 ほか	670	21	淀江なかよし学級ほか
出前講座(講演会講師)	8/22 ほか	251	6	南部町天万庁舎ほか
施設見学	9/20	6	3	文化庁調査官ほか
学校連携古代学習	6/12・6/23	91	2	尚徳小2・3年生
古代体験学習(連携事業)	7/24・8/8	49	2	夏休みこども体験ツアー
研究会利用	11/23 ほか	30	1	山陰中世土器検討会
設備利用	1/24	4	4	写場・研修室
職場体験	7/2 ほか	6	4	高校生・大学生インターンシップ
学習利用	4/30 ほか	390	3	五千石小ほか
出土品貸出利用	5/9 ほか		13	古代出雲歴博・倉吉博ほか
出土品実見等研究利用	4/12 ほか	14	13	学生卒論、大学研究ほか
写真資料等貸出利用	8/27 ほか		3	遺跡写真データ
図書閲覧・貸出	5/1 ほか	10	10	36冊
センターたよりの発刊	6/28 ほか		4	第13号～16号
刊行物	3/31		1	埋文センター資料整理報告1集
計		4,213 (848)	102	

平成 26 年度上淀白鳳の丘展示館の組織体制及び事業報告書

(平成 27 年 3 月 1 日現在)

1 組織体制

館長（非常勤）	1 人	
副館長（常勤）	1 人	
学芸員兼企画員（常勤）	1 人	
スタッフ（非常勤）	2 人	合計 5人

2 事業の実施状況

(1) 入館者数等

区分	一般	高・大学生	中学生以下	合計
人数	3,206 人	90 人	263 人	3,559 人

(2) 主な事業概要

区分	事業名	実施状況	備考
自 主 事 業	上淀白鳳の丘 館企画展	白鳳の丘展示館の多目的室において、次の企画展を実施しました ①上淀廃寺復元壁画の原画展 ・上淀廃寺の金堂復元壁画の原画を平成 26 年 4 月 26 日～5 月 6 日（11 日間）開催した。 （入館者数：154 人） ②よどえの古墳時代をテーマにした企画展を平成 26 年 8 月 2 日～9 月 28 日（50 日間）開催した。 （入館者数：848 人）	チラシ 参照
	彼岸花の里づくりプロジェクト事業	上淀地区の石馬会をはじめ関係団体等で構成するプロジェクト実行委員会を組織し、国史跡上淀廃寺跡の法面に彼岸花を植栽することなどを中心とする新しい事業を立ち上げた。 ・目的 史蹟の保全と景観形成、上淀エリアの魅力アップや来訪者の増加及び賑わいのある地域づくり ・実績 植栽面積約 550 m ² （全体の 1/4 程度） 植栽球根数 約 5,000 個 植栽ボランティア 約 150 人	チラシ 参照
	啓発・情報発信事業	①平成 26 年 9 月 5 日に米子ロータリークラブの例会で、出前講座を実施した。（受講者：36 人） ②米子市児童文化センターのロビーにおいて平成 26 年 7 月 23 日から 8 月 6 日まで（15 日間）及び米子市立図書館の市民ギャラリー（2 F）において平成 27 年 2 月 1 日から同月 22 日（22 日間）までハクホとコエダのマンガパネル展を	

	啓発・情報発信事業	開催した。 ③展示館の利活用の促進を図るため2月の公民館長会議、3月の小・中学校長会において、展示館及び周辺史跡のプレゼンテーションを行いました。	
	周辺史跡ガイド事業	入館者及びこのエリアへの来訪者の要望に応じ、周辺史跡（向山古墳群、石馬、上淀廃寺跡）ガイドを、周年をとおして積極的に実施した (周辺史跡案内=200回 2,208人)	
連 携 事 業	とっとりの文化遺産魅力発掘プロジェクト事業	鳥取県立むきばんだ史跡公園や米子市教育委員会等を構成メンバーとするプロジェクト実行委員会の中で、地域の連携の強化とこのエリアの魅力アップのために、次の事業の中で中心的な役割を果たしました。 ①トークプレイス 淀江の古墳時代をテーマに2回のトークプレイスをむきばんだ史跡公園のやよいの館むきばんだで開催しました ・第1回 「古墳からのメッセージ」(9月14日) ・第2回 「よどえの石馬さん」(10月25日) (参加者数：合計100人) ②彼岸花ウォーク よどえまるごと道草日和イベントの一つとして、名水と彼岸花を巡るコースを設定したウォークを実施しました。(参加者数：合計14人) ③前年度に実施した3回のトークプレイス講演記録集を編集・出版しました。(300部)	チラシ参照
	地域内連携事業	よどえ古代まつり、美水の郷秋麗ウォーク、サイクリングカーニバル等の地域イベントに積極的にに関わり、当日の入館料を無料にするなど展示館のPRとイベント内用の充実に努めた。	
	淀江エリア魅力アップ事業	米子市観光協会や大阪にある旅行専門学校と連携して、このエリアを対象にした観光商品の造成に取り組みました。 今年度は、平成26年9月24日学生が企画し、旅行会社が募集したツアー客(16人)を受け入れし、同年11月には次年度の企画のために来訪した専門学校生徒の視察体験旅行を企画・実施しました、本年2月には生徒が作成した観光商品のプレゼンテーション(大阪市)に出席した。	

平成 27 年度上淀白鳳の丘展示館の組織体制及び事業計画

1 組織体制

館長（非常勤）	1	人	
副館長（常勤）	1	人	
学芸員兼企画員（常勤）	1	人	
スタッフ（非常勤）	2	人	合 計 5人

2 事業計画

(1) 基本方針

指定管理業務の最終年になり、これまでの実績等を踏まえ、引き続き施設の円滑な管理運営を図るとともに、自主事業の充実や関係団体との連携を強めながら、上淀白鳳の丘展示館を中心とするエリアの魅力を高めるための事業展開を目指すこととします。

(2) 主な事業

区分	事業名	目的・内容	実施時期
自主事業	上淀白鳳の丘館企画展	上淀白鳳の丘展示館の多目的室において、復元壁画の原画展や淀江町内の「サイノカミ」をテーマにした企画・パネル展を実施します。	10月予定
	彼岸花の里づくりプロジェクト事業	2年目となる「彼岸花の里づくりプロジェクト事業」の更なる拡充を図るため、今年度も彼岸花の植栽事業及び彼岸花ウォーク等の事業を実施し、この運動の機運の醸成と国史跡上淀廃寺跡の魅力アップ、情報発信に務めます。	4～10月
	啓発・情報発信事業	<ul style="list-style-type: none"> ・上淀廃寺を中心とする淀江エリアの理解と関心を高めるため、積極的な出前講座の実施や公民館や小・中学校における校外学習の利用促進を図ります。 ・昨年に引き続き、市内の公共的施設等においてハクホとコエダのマンガパネル展を開催します。 ・上淀廃寺などテーマにした、歴史ミニ講座の開催に努めます。 	随 時 随 時 随 時
	周辺史跡ガイド事業	展示館入館者へのサービスやこのエリアの魅力を高めるために、昨年い引き続き、向山古墳群、石馬、上淀廃寺跡等の周辺史跡等のガイドを実施します。	随 時
	とっとり文化遺産魅力発掘プロジェクト事業	むきばんだ史跡公園や地元関係団体等で構成するととりの文化遺産魅力発掘プロジェクト実行委員会の構成メンバーとして、今年度も「学ぶ・楽しむ淀江の歴史遺産講座」や「よどえまるごと道草日和」を企画・実施します。	9～10月頃

連 携 事 業	地域内連携事業	サイクリングカーニバル、夏休みこども体験ウォーク、美水の郷秋麗ウォーク、よどえまるごと道草日和、シンポジウムエクスカーション等のこのエリアで開催されるイベントとの連携を図りながら、上淀白鳳の丘展示館、国史跡上淀廃寺跡をコースに組み入れた利用の促進に努めます。	随 時
	淀江エリア魅力アップ事業	上淀廃寺などの史跡を活用やこのエリアの恵まれた自然や特産品を取り入れた観光商品の開発を昨年引き続き、米子市観光協会、旅行専門学校、観光業者とともに取り組みます。	11 月頃

第6号(平成26年度)

米子市
歴史館

友の会だより

平成26年度 歴史館友の会活動報告

平成26年度の友の会事業として研修会を開催し「吉備路」を歩きました。当日は残暑の残る暑い一日でしたが、30人の方の参加をいただき、賑やかに楽しく研修を終えることができました。報告を兼ねて当日の様子を振り返ってみます。

経費の都合で2年に1回の研修会を開催する方向で進めている友の会の研修ですが、今回の研修を終えて参加された会員の皆さんから「ぜひ来年もこういう研修会を開催してほしい！」との好評の声を多くいただきました。このようなご意見を参考にしながら、27年度友の会の研修会当日の参加費徴収という方向で提案させていただければと考えているところです。



国指定史跡 造山古墳の見学



吉備風土記の丘

国分寺跡/五重塔/こうもり塚古



吉備津彦神社





高松城址公園 水攻の跡



清水宗治の首塚

高松城主清水宗治の墓



今は民家の中に在る
清水宗治の胴塚

平成 26 年度 上淀白鳳の丘展示館活動報告

上淀廃寺のガイダンス施設としてリニューアルオープンしてから 3 年を経過する中で、上淀白鳳の丘展示館を核にして、平成 26 年度においても館内外の様々な事業・イベントに積極的に関わっていきました。

上淀白鳳の丘展示館ガイド

上淀白鳳の丘展示館がオープンして以来、一貫して取り組んできたのが、展示館ガイド事業です。展示館ガイドは、個人・団体を問わず、来館者の方に館内の展示物の説明をし、上淀廃寺をはじめ淀江エリアの歴史的価値と魅力についての認識を深めていただくために実施してきたものです。又、この館内ガイド事業と並行して周辺史跡のガイドにも取り組んでいます。

今年度は、1 月末現在で、石馬、上淀廃寺跡及び向山古墳群の案内を合計 192 回（人数 2,198 人）を実施し、上淀エリアのグレードアップに努めてきました。

この事業は、今後とも展示館の重点事業として継続していく予定です。

企画展 よどえの古墳時代を考える



企画展 よどえの古墳時代
—王墓はかたる—

展示館内では、多目的室を使い平成 26 年 4 月 26 日から 5 月 6 日の 11 日間にわたり上淀廃寺復元壁画の原画展を、8 月 2 日から 9 月 28 日までの 56 日間にわたり淀江の古墳時代にスポットを当てた企画展『よどえの古墳時代—王墓はかたる—』を開催して、来館者の方に喜ばれました。

更に平成 27 年 2 月 1 日から同月 22 日までの間、米子市立図書館 2 階の展示ギャラリーで『上淀廃寺の謎に挑戦—ハクホとコエダの漫画パネル展—』を開催し、国史跡上淀廃寺跡の積極的な PR と情報発信に努めてまいりました。

とっとりの文化遺産魅力発掘プロジェクト事業

昨年に引き続き今年度も、県や関係団体との連携事業「とっとりの文化遺産魅力発掘プロジェクト」に積極的にに関わり、トークプレイス「よどえの古墳時代を考える」をテーマにむきばんだ史跡公園の弥生の館むきばんだ体験実習室で 9 月 14 日と 10 月 25 日の 2 回開催しました。このトークプレイスでは、いずれも会場が満席となり、改めて淀江の古墳時代の魅力を再確認し、認識を深める講座になりました。



トークプレイス よどえの古墳時代を考える

彼岸花の里づくりプロジェクト事業

上淀白鳳の丘展示館の役割には、施設の管理運営にとどまらず、この施設を核にして、史跡と水と緑に恵まれている淀江エリアの魅力を一層高め、多くの人を訪れるゾーンにしていくことがあると考えています。このことから平成 26 年度において最も力を注いだのが『彼岸花の里づくりプロジェクト事業』です。



彼岸花の植栽イベント

この事業は

- ① 史跡上淀廃寺跡の維持保全と景観形成
- ② 淀エリアの魅力アップと来訪者の増加
- ③ 地元、行政、関係団体が一体となった地域づくり

の3つの目的のもとに今年度から複数年をかけて計画的、継続的に上淀廃寺跡の法面に彼岸花を植栽していく事業です。

平成 26 年度においては、同年 4 月に実行委員会を立ち上げるとともに、彼岸花の球根提供者と植栽ボランティアを募集し、同年 6 月に第 1 回目の植栽活動を行ったのをはじめ、合わせて 4 回の植栽活動を実施しました。更に 9 月には『よどえまるごと道草日和』事業の中で彼岸花ウォークを実施しました。

実績としては、米子市内外から彼岸花の提供者が 20 人以上、提供を受けた球根数も 6,000 個以上あり、当初の目標を大きく上回ることができました。

植栽ボランティアも第 1 回目にはボランティア・スタッフ合わせて 96 人が集まり、又第 2 回目では白鳳高校の生徒の植栽協力もあり、合計で約 150 人の皆さんにこの植栽活動に参加していただくことができました。

植栽した約 5,000 個の球根のうち、今年度は約 1,000 本以上の花を上淀廃寺跡の法面に咲かせることができました。彼岸花は非常に生命力の強い花で、来年以降はもっとたくさんの花を咲かせ、彼岸花の丘としてバージョンアップしていくのが楽しみです。わたし達は、この植栽事業を平成 27 年度以降も実施する予定ですので、米子市歴史館友の会の皆さまにも、是非参加していただきたいと思っていますので、よろしくお願いします。



彼岸花の咲く上淀廃寺跡の法面

以上、平成 26 年度に実施した上淀白鳳の丘展示館の主要事業の概要を報告します。

[副館長 長谷川明洋]

平成 26 年度米子市福市考古資料館・米子市埋蔵文化財センター活動報告

今年度も、例年どおり展示、史跡ガイドウォーク、考古学講座、体験学習、調査研究、資料整理、情報発信の事業に取り組みました。

展示活動では両館の考古資料の常設展、企画展「発掘調査速報展」のほか、上淀白鳳の丘展示館と共催で「淀江の古墳時代」展を連携して行いました。

史跡ガイドウォークでは、「淀江の文化財を歩く」、「石造物探訪ツアー（西福原・米原地区）」、「米子城跡ガイドウォーク」、「発掘現場見学会」を実施し、各地の史跡を探訪して歩きました。



史跡ガイドウォーク

また考古学講座では「米子の考古学事始め」、「南部町境の遺跡群」、「観音寺狼谷山の発掘調査から」のテーマで3回の講座を行いました。

体験学習では、市内のなかよし学級を対象に勾玉づくりを主にした「古代体験教室」を21回開催するとともに、財団のこども夏休み体験ツアー、尚徳小学校の古代学習の受け入れなど、子供たちの古代体験学習活動を行いました。



考古学講座

調査研究活動では、収蔵資料の再整理を行うとともに、研究者への資料提供、会場提供、倉吉博物館や古代出雲歴史博物館等への収蔵品貸出、写真資料提供、考古図書の閲覧・貸出などを行いました。

情報発信事業は、発掘調査情報や米子の遺跡紹介を掲載した「埋蔵文化財センターたより」を年4回発刊し、両施設のホームページに施設情報を掲載しました。



古代体験学習

平成 27 年度は、指定管理の節目の5年目となります。米子市教育委員会、山陰歴史館、淀江白鳳の丘展示館との連携をより一層図りながら各種事業に取り組みたいと思います。



発掘現場見学会

平成 26 年度自主事業一覧

	事業名	目的・内容	実施時期
展	常設展示「米子の原始・古代」 (福市考古資料館)	米子の遺跡から出土した考古資料を展示し、原始・古代の姿の理解を深める。	通年
	常設展示「米子の遺跡と発掘調査」(埋蔵文化財センター)	遺跡や出土品を通して、米子の遺跡や発掘調査への理解を深める。	通年
	企画展示「発掘調査速報展」 (福市考古資料館)	最近の発掘調査成果を展示する。	10～11月
示	共催企画展「淀江の古墳時代」 (埋蔵文化財センター)	上淀白鳳の丘展示館等で共催展示を行う。	8～9月
教 育 普 及	米子城跡ガイドウォーク	米子城の解説と現地のガイドを行う。	3月
	市内遺跡探訪ウォーク	淀江の史跡の現地のガイドを行う。	5月
	石造物探訪ウォーク	西福原の石造物の現地ガイドを行う。	9月
	考古学講座「発掘が語る米子」	調査の歴史、遺跡の発掘成果を解説する講座を行う。	6、8、10月
	講座「出土品学習教室」	発掘出土品の復元を学習する。	11月
	発掘調査見学ツアー	発掘中の越敷山古墳群の遺跡を見学する。	11月
	古代体験(勾玉・火起こし)	希望する団体や来館者の体験学習	随時
	出前講座・学習受け入れ	学校・公民館等への古代体験学習	随時
調査	調査・研究、整理、点検	収蔵資料の調査・研究、整理・点検	通年
情報 発信	「埋蔵文化財センターたより」	調査情報、収蔵品、行事等の情報提供	年4回
	施設・遺跡情報の提供	ネットでの行事・施設情報提供。	通年
連携	財団施設連携事業	事業団管理施設の解説と特色のある事業体験を行う。	7、8月

[館長&センター長 小原貴樹]

平成 26 年度 米子市立山陰歴史館事業報告

平成 26 年度は、企画展 6 ・鑑賞事業 1 ・講演会 3 などの事業を開催した。

4 月 26 日～6 月 8 日まで開催した「絣 ～時代とともに～」では、市民の方々に米子市報での絣の貸出を呼びかけたところ、たくさんの方から「展示に貸し出してもよい」という連絡が入り、当初想定していた以上の作品数・235 点をご覧いただくことができた。また、借入の際に、いつ頃誰によって、どこで織られたものかなどの資料調査も並行しておこなった。こうして、歴史館の館蔵品を含めた絣作品の資料整理や資料カードの作成を実施した。

歴史館では、館蔵資料の収集(主に寄贈品を中心としている)を以前からおこなっている。これらの館蔵資料は、常設展やそれぞれの年度に開催する企画展でご覧いただけるようにしている。6 月 29 日～8 月 17 日まで開催した企画展では、大型の農具を展示して、今の農具との違いや使い方の様子などを紹介した。開催期間に夏休みがかけ、暑い館内ではあったが、親子で見学をしながら夏休みの宿題に取り組む姿をよく見かけることがあった。時には、おじいさんやおばあさんと一緒に来館もあり、農具を使っていた当時の話に耳を傾ける小学生の姿も見られた。

第 41 回を数える「郷土の歴史教室」は、米子錦ライオンズクラブの助成を受けて毎年開催している、市内の小学生を対象とした学習型体験事業である。今年は、「たたら」の学習を現地見学を取り入れて実施した。



たたら製鉄の様子を見学



絲原家

9月6日～10月13日まで、企画展「音を奏でる」を開催した。展示品には古代琴や八雲琴、七弦琴、薩摩琵琶・筑前琵琶、月琴を始めとする日本の弦楽器や東南アジアやアフリカ・南アメリカアンデス地方の楽器など、日ごろ目にすることのない珍しい楽器をご覧いただいた。

展示に関連する事業として、レクチャーコンサート「日・中・韓 音の時空」を9月27日、米子市文化ホールと連携して開催した。中国の古箏・韓国のカヤグム・日本の琴/箏の歴史をひもときながら、楽器の解説と演奏を楽しんでいただく「学び」と「鑑賞」を合わせた事業を提供した。

また、「米子歴史絵巻」の第3回目として10月4日、湊山公園内日本庭園で「筑前琵琶」のコンサートを開催することとした。当日はあいにくの台風模様で、米子市児童文化センターに場所を移しての開催となった。哀愁を帯びた琵琶の音色と語りの世界を堪能した。



このほかに、平成26年度に寄贈いただいた資料の整理と館蔵品の整理カード作成にも取り組んでいる。また、26年度の終り3月末には「歴史館紀要2号」を刊行する予定です。

平成27年度も友の会の皆さんの参加協力を得て、事業を実施していきたいと思っております。機会をとらえて、企画展や講演会、講座、研修に参加いただきますようお願いいたします。

[副館長 笹尾千恵子]

米子市歴史館友の会事務局

〒683-0822

米子市中町 20 番地 米子市立山陰歴史館内

電話 0859-22-7161 fax 0859-22-7160

担当：笹尾千恵子

刊行：平成 27 年 3 月